tag たっぐ

ヒト・コト・モノを届けます

「多賀城発で多賀城着。」

たがさぽちゃん

2019 Jan. vol.73 take free

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、
社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

音楽と読み聞かせのコラボレーション

2018年12月1日(土)、多賀城市立図書館にてギター生演奏をバックに読み聞かせを行う「音と絵本のおはなし会」が開催されました。4つの団体のコラボレーション企画で、「ライブを聴こうin多賀城」実行委員会のメンバーがたがさぽに話を持ち掛け、図書館や絵本読み聞かせボランティアへ企画を提案したことで実現しました。

絵本の雰囲気に合わせた音楽が流れたり、「ドレミの歌」をモチーフにした絵本ではみんなで歌ったり、普段とは少し違った特別なおはなし会になりました。▶

当日の様子はブログ「たがさぽPress」にも掲載しています。
2018年12月2日(日)掲載　「NPOの絵本展」開催中＆「音と絵本のおはなし会」開催しました

参加者の感想

おはなし会に参加したお母さん

音楽と読み聞かせが合わさることで、よりお話に引き込まれました。子どもたちも音楽に合わせて歌ったりとノリノリでした。

協力したみなさんの感想

「ライブを聴こうin多賀城」実行委員会

音楽を通して地域の文化を高めていくことも私たちの役目だと思います。普段は多賀城駅前でライブイベントをやっていますが、今回違った視点で音楽を提供できました。

絵本読み聞かせボランティア「よつばのクローバー」

音楽によって絵本の情景がイメージしやすくなりました。私たち自身も楽しくて気持ちが入りました。音楽の力ってすごいと思います。

多賀城市立図書館

アイデアを出しあってみんなでつくりあげることができました。今回限りで終わりではなく、継続してこのような企画を実施していければと思います。

たがさぽ

多賀城にはたくさんのおもしろい場所、おもしろい人たちがいます。今回はそれぞれの強みを生かして読み聞かせが実施できてよかったです。

Hint from "Tagasapo Press"

ヒント from たがさぽPress

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介！

2018年12月11日(火)掲載
イベント・講座の広報 ～SNS編～

2018年12月13日(木)掲載
島の復興と社会的弱者の雇用・自立を応援「浦戸の花物語プロジェクト」

2018年12月18日(火)掲載
アイデアの整理をお手伝い「ひとりブレスト」

"たがさぽPress"とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぽPress」へ！
http://blog.canpan.info/tagasapo/

「tag」のアンケートへご協力をお願いします！

今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！
また、以下のような情報もお待ちしています！

○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介

「たがさぽカフェ」オープン！

「たがさぽに行ってみたいけど、特に用事はないしな～」。そう思っているそこのあなた！お茶やお菓子を楽しみながら、スタッフやお客さん同士でおしゃべりしませんか。
あわせて、たがさぽにある本・絵本の紹介や、テーマを決めて楽しめるコーナーもつくる予定です。ぜひあそびに来てください。

日時　・2019年1月14日(月・祝)午前10時～11時、午後2時～3時
・2019年2月14日(木)午前11時～午後2時
・2019年3月16日(土)※時間調整中
会場　多賀城市市民活動サポートセンター フリースペース
費用　無料
申込み　不要・出入り自由
問合せ　022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

みんなで考える多賀城のこと

tag たっく

知ってもらうことが活動の第一歩
みやぎ化学物質過敏症の会 ～ぴゅあい～

みなさんは、香料などの化学物質の香りが健康に影響する「香害」をご存知ですか？今回は、香害により発症してしまう「化学物質過敏症」という病気の啓発のために活動する団体をご紹介します。

「知ってもらう」ための活動はとても大事なんだね

1 「化学物質過敏症」当事者として啓発活動を

化学物質過敏症は、日常生活の中の極めて微量の化学物質（柔軟剤などに含まれる香り成分、たばこ、建材など）に反応して体調を崩してしまう病気です。誰が発症してもおかしくない環境病のひとつで、2009年に病名登録されたばかりです。

「みやぎ化学物質過敏症の会～ぴゅあい～」代表の佐々木香織さんは、2013年にこの病気の診断を受けました。症状の苦しさよりも社会的認知度の低さから、家族をはじめ周囲の無理解にとても苦労しました。同じ病気で悩んでいる人とつながりたい、同じような想いをしてほしくない、発症者を増やしたくないという想いから活動を始め、現在は名取市を拠点に、県内各地で一人でも多くの人にこの病気を知ってもらうために啓発活動などを行っています。

▲2018年11月29日（木）に開催した多賀城での初めての講座で、ご自身の体験を話す佐々木さん。（写真提供：「ぴゅあい」）

2 社会の認知・理解が病気の予防や当事者支援に

多賀城市では教育委員会から保護者に「香料について」の文書が配付され、多くの人に知ってもらえる動きが出てきましたが、認知度はまだまだ低いのが現状です。この病気に詳しく、正しい診断ができる医師が少ないため、一人ひとりがこの病気を知ることが大切になってきます。「苦しんでいても声に出せない人もいます。まずは病気のことを知ってほしい！そして香料自粛に協力して予防をしてほしい」と佐々木さん。多くの理解者の協力が必要です。

3 共感から気づきと協力へ

活動では、この病気を知った人が「大変だね」と他人事で終わらせず、自分にも何かできることはないかを考えるきっかけにしてもらい、共感から理解や協力につながるように働きかけています。佐々木さんの話を聞いて、自分の身の回りで香料の自粛を呼びかける人も出てきました。協力の輪を広げることで発症者を増やさない環境になり、多くの人を守ることができます。佐々木さん自身も家族の理解を得るのに苦労しましたが、時間をかけて正しい情報を伝え、家族を守ることにもなると協力を求めたことで、香料自粛をはじめ、さまざまなことに協力してもらえるようになりました。

▲この日の講座には、約40名が参加、最後の質疑でもさまざまな質問が出され、関心の高さが伺えました。（写真提供：「ぴゅあい」）

4 発症しないように予防を！

佐々木さんは病気をどうやってプラスに転換して行動していくかを考えており、多賀城でも講座を開催し、啓発の第一歩を踏み出しました。化学物質過敏症で困っている人を少しでも減らしていくためには、多くの理解者や協力者が必要になります。今後さらに活動を広げ、発症者が増えないようより多くの人にこの病気を知ってもらいたいと考えています。

香害について分かりやすく書かれた、啓発のためのチラシ。設置してくれる場所を探しています。

詳しくはホームページをご覧ください

けんさく！ ぴゅあい 検索

What's ? tag たっく

「tag」には、多賀城（tagajo）の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ（価値）をつける、という意味が込められています。

@tagasapo
たがさぽのツイッターへのフォローお願いします！

http://www.tagasapo.org/
2018年4月にリニューアル！
「たがさぽ」のホームページはこちら

発行：多賀城市市民活動サポートセンター　〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3（多賀城市文化センター北隣・上水道部向かい）
電話：022-368-7745　FAX：022-309-3706　編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター